

# 2019年3月期 第2四半期決算説明会

アステリア株式会社  
(東証一部:3853)

2018年11月12日  
(2018年11月9日開示)



3853

10月1日 社名変更

Asteria 

アステリア株式会社

# 会社概要

2018年9月30日現在

- ✓ 市場 東証一部上場 (3853)
- ✓ 設立 1998年9月
- ✓ 事業 「つなぐ」ソフトウェアの開発・販売とDXを実現する戦略デザインコンサルティング

英国

London

中国

Hangzhou  
Shanghai  
Hong Kong

日本

Tokyo  
Osaka

米国

Seattle  
Cupertino

シンガポール

Singapore

This Place HK Ltd. 設立発表  
アジア・オセアニアに領域拡大



代表取締役  
執行役員社長/CEO  
平野 洋一郎

- ✓ 資本金 22億7,534万円
- ✓ 従業員数 123名 (連結)

# 決算ハイライト

2019年3月期 第2四半期決算

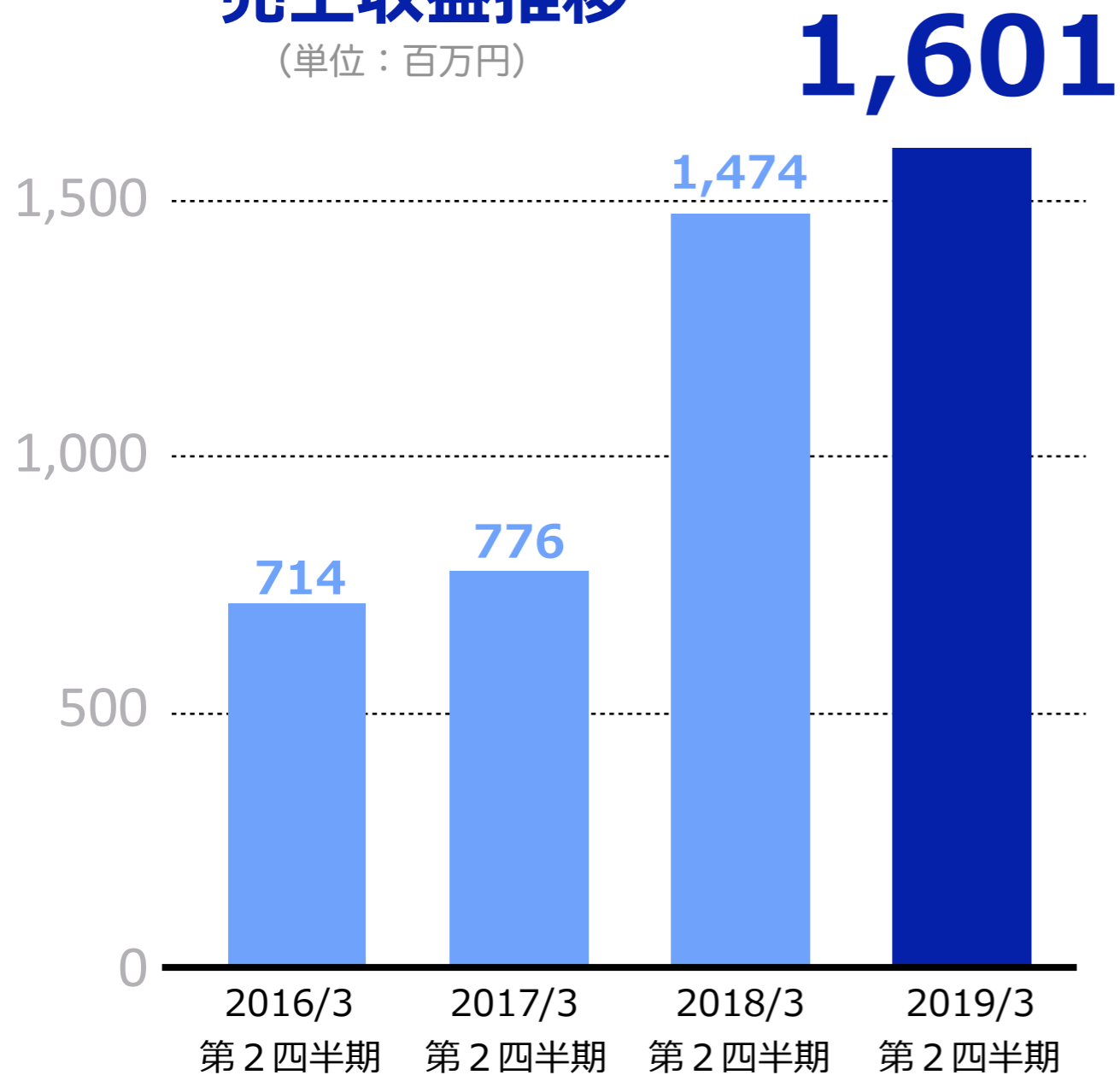
(国際会計基準 = IFRS)

# 增收減益

- ✓ 売上収益：上場来最高を更新（第2四半期）
- ✓ 営業利益/当期利益：前年同期比大幅減

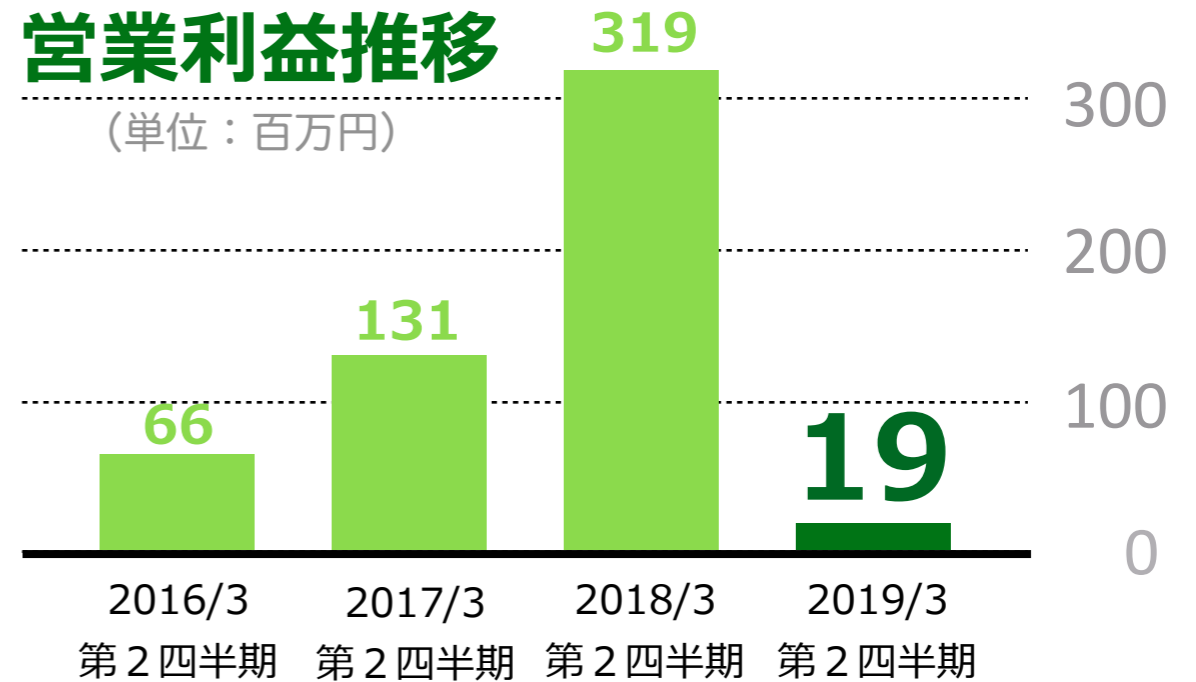
## 売上収益推移

(単位：百万円)



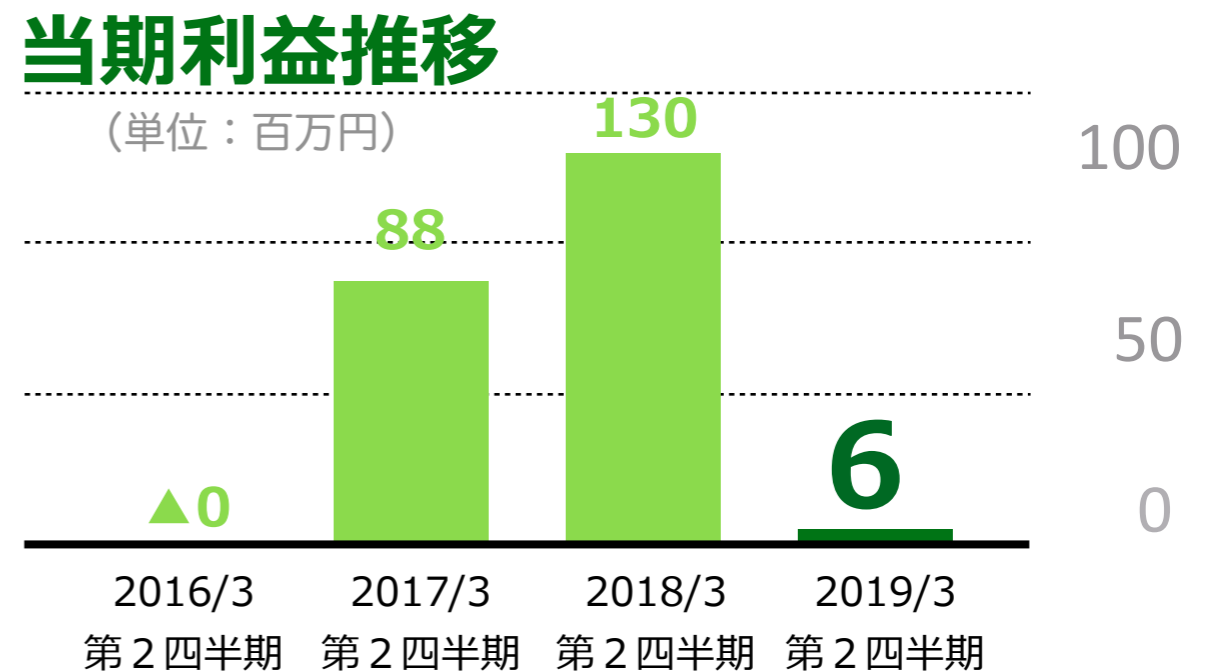
## 営業利益推移

(単位：百万円)

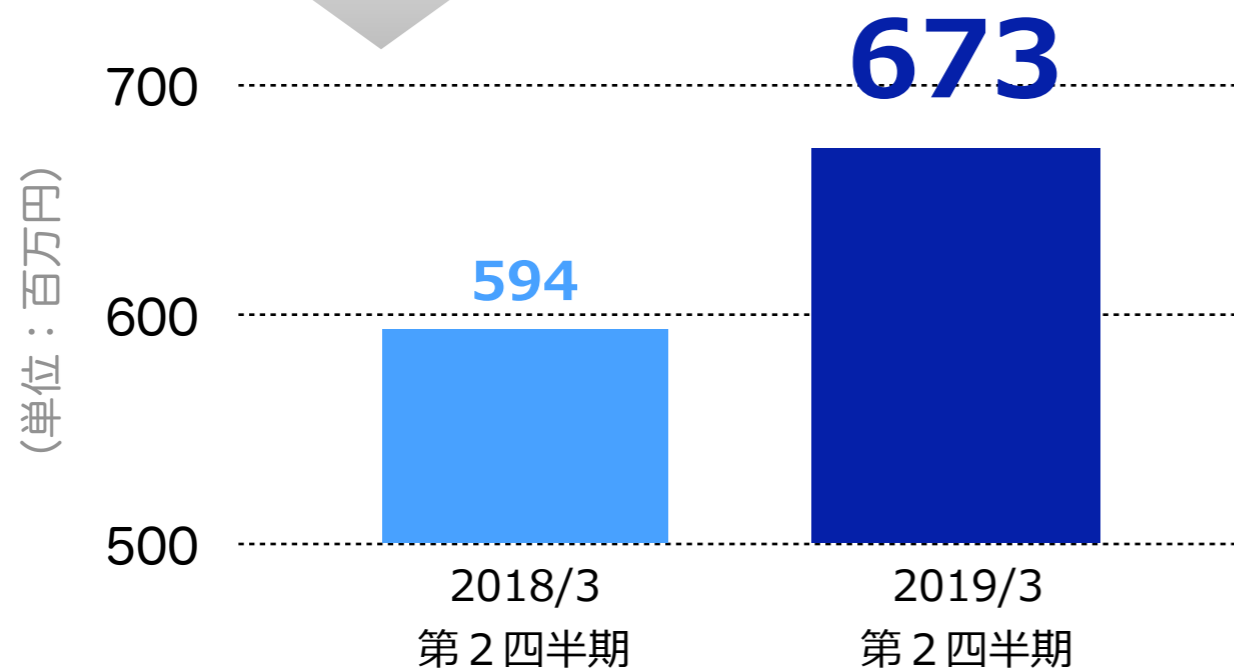


## 当期利益推移

(単位：百万円)

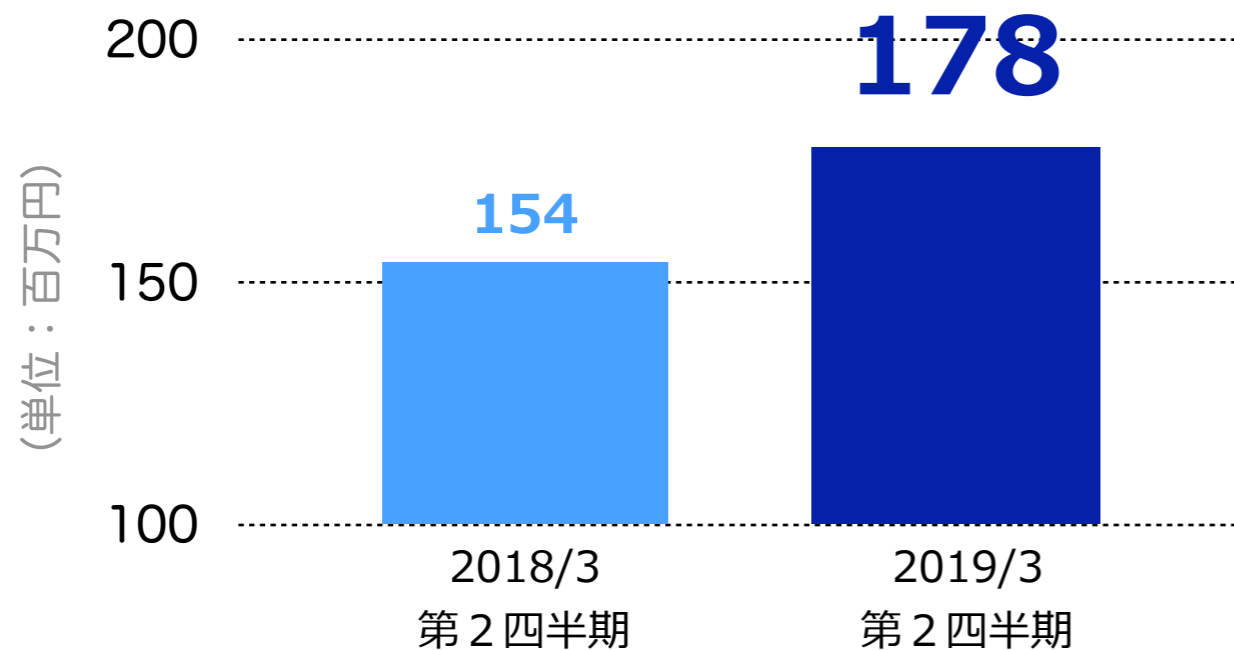


# 増収要因



① デザインサービス  
が伸長

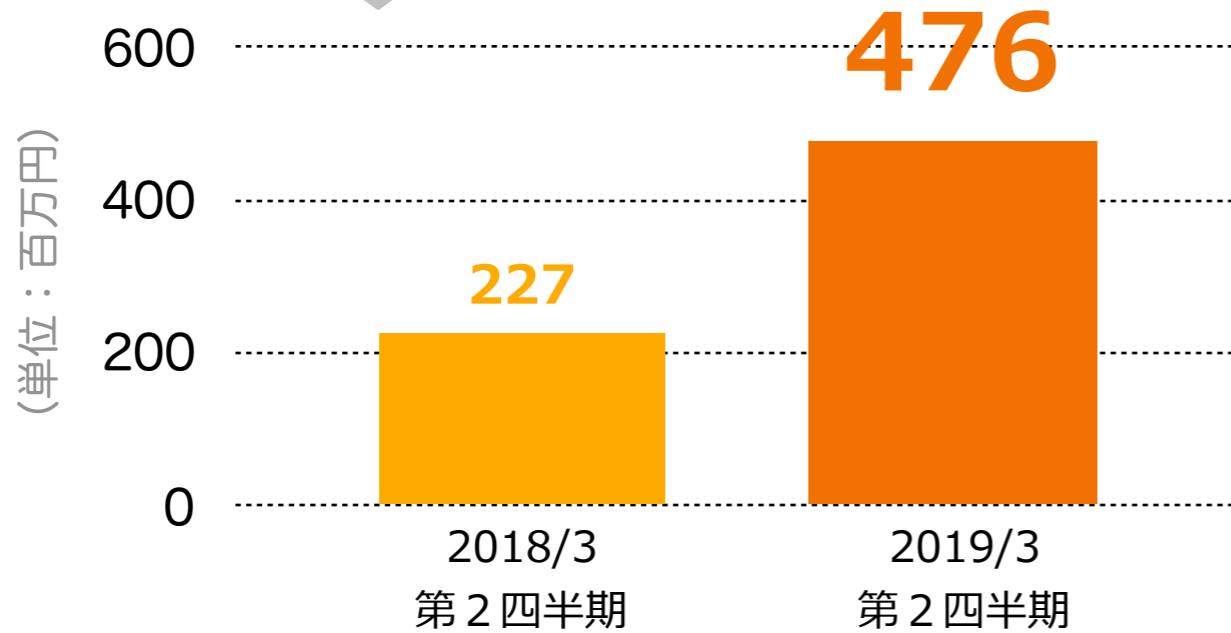
前年同期比: **113.9%**



② サブスクリプション  
(期間課金) が伸長

前年同期比: **115.5%**

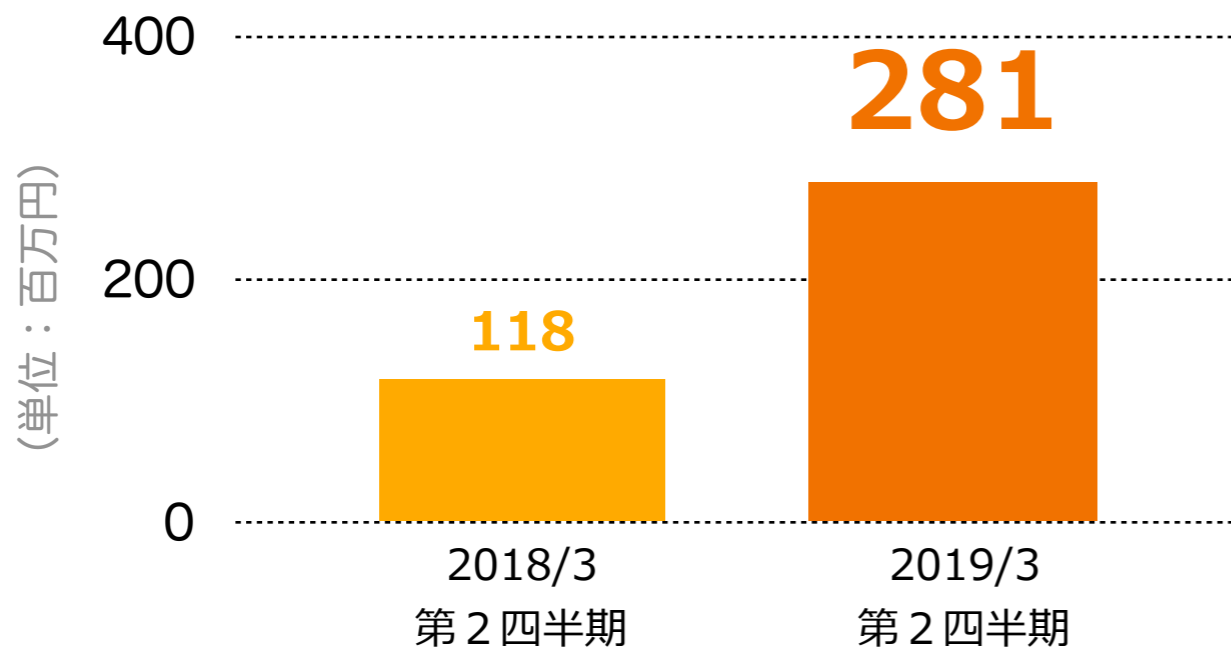
# 減益要因



## ① 製品・サービス原価が増加

(特にデザインサービス)

T-Mobile / Sprintの合併準備により  
複数のプロジェクトが遅延や非効率化



## ② アーンアウトが増加

前年度（買収時）処理の遅行分。

※買収時特有の一時的なもの

# 決算概要

2019年3月期 第2四半期決算  
(国際会計基準 = IFRS)



# 損益計算書

■ **売上収益は上場来最高**を記録するも、主に売上原価の増加（主にデザインサービス関連）の影響で**利益は減少**。

（単位：百万円）

	2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	前年同期比
売上収益	714	776	1,474	<b>1,601</b>	108.7%
売上総利益	595	671	1,128	<b>844</b>	74.8%
販売管理費	527	539	804	<b>824</b>	102.6%
営業利益	66	131	319	<b>19</b>	5.9%
税引前利益	61	136	219	<b>72</b>	32.9%
当期利益	▲0	88	130	<b>6</b>	4.4%

# ビジネスユニット別売上収益

## エンタープライズ

前年同期比 **104.6%**

- ✓ 売上収益**775**百万円
- ✓ **ASTERIA**の導入社数は、**7,267**社に伸長。

## ネットサービス

前年同期比 **108.4%**

- ✓ 売上収益**143**百万円
- ✓ **Handbook**の導入件数は、**1,460**件に伸長。

- 主要3ビジネスユニットにおいて売上収益増加。

## デザインサービス

前年同期比 **113.9%**

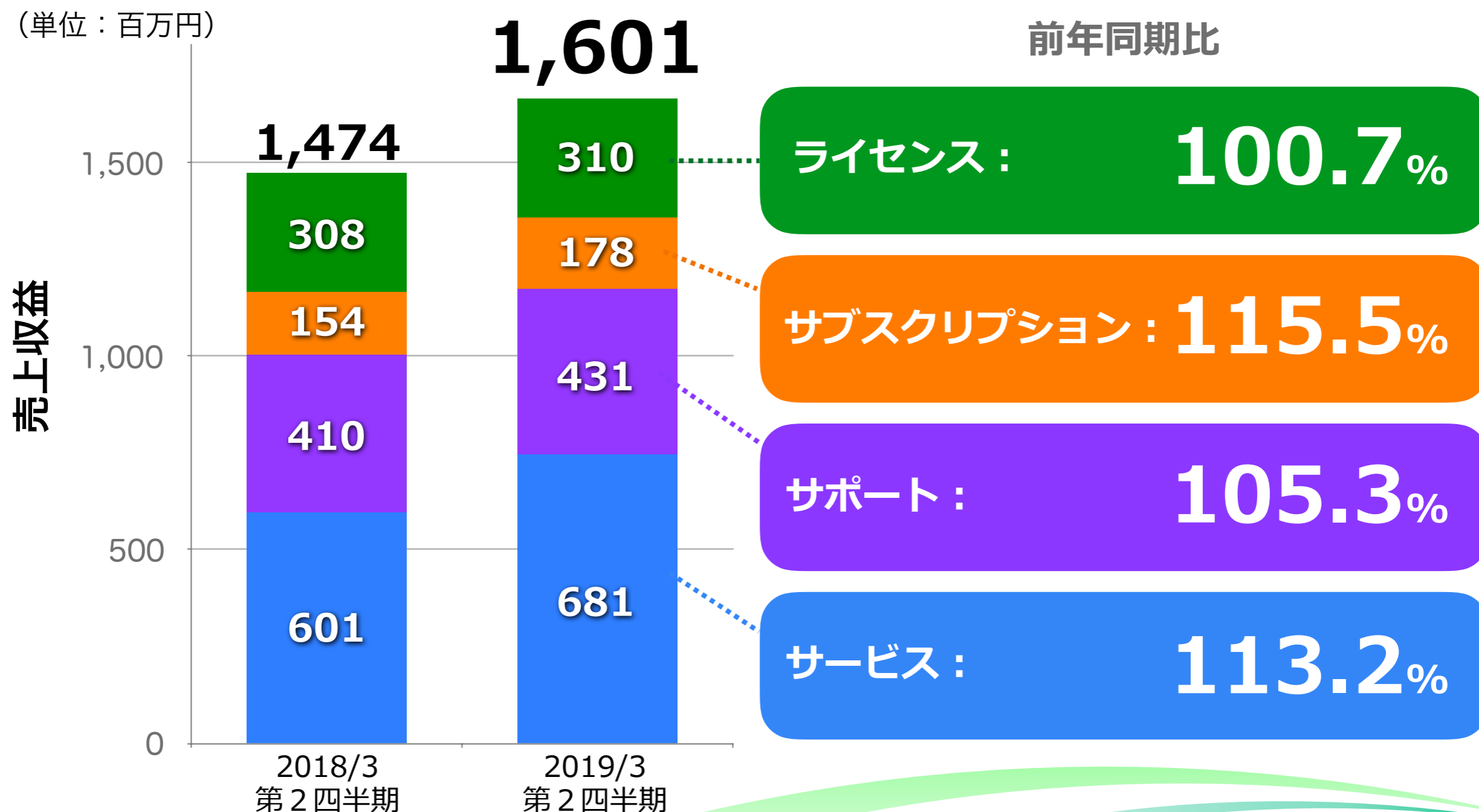
- ✓ 売上収益**677**百万円
- ✓ 主たる顧客は、米国およびEUの企業

## その他

前年同期比 **92.9%**

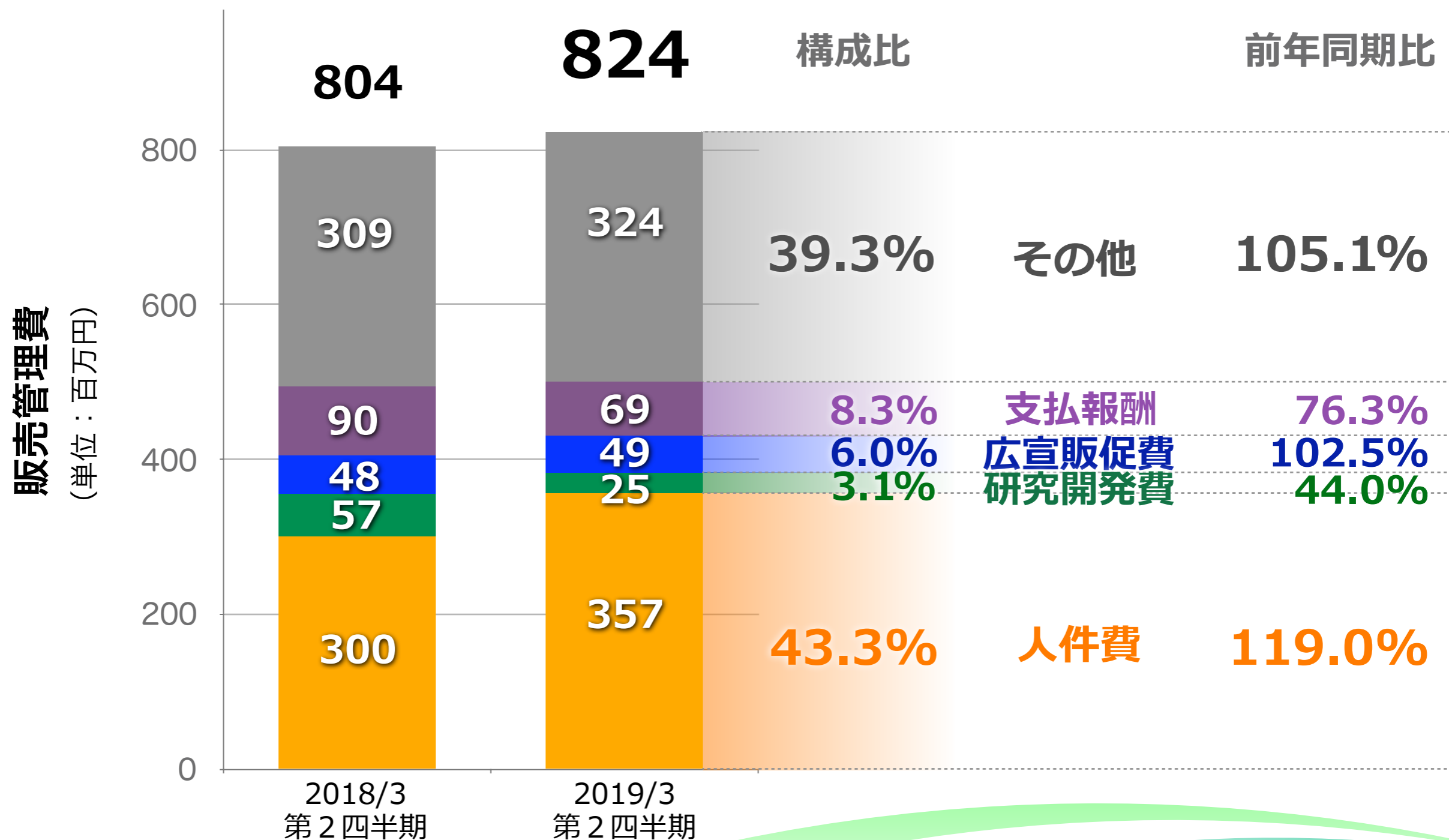
# 売上収益の内訳と推移

- 全ての売上区分で売上収益が増加。
- 注力している「サブスクリプション」と「サービス」は2桁増。



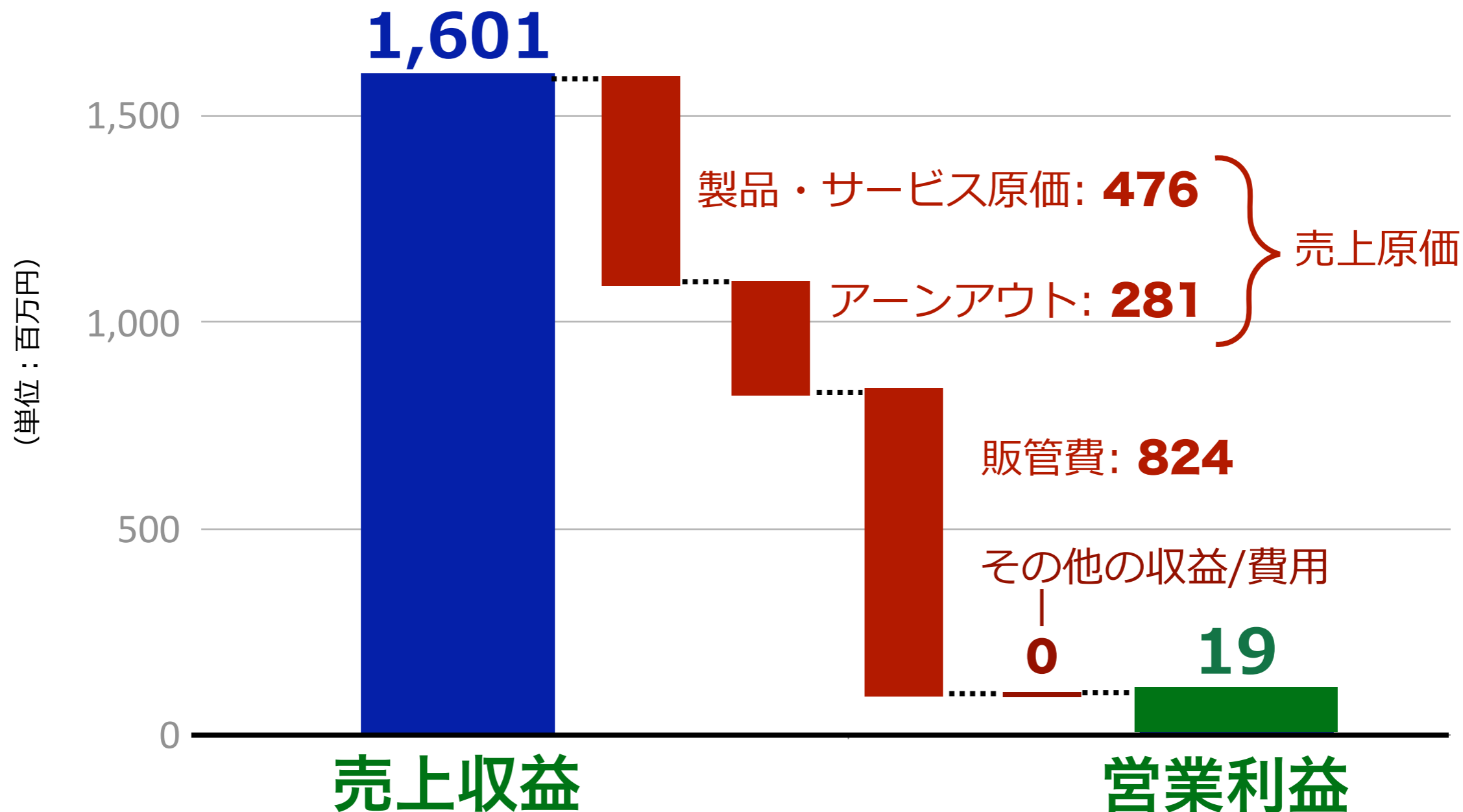
# 販売管理費の推移と内訳

- 販売管理費全体は増加するも、売上収益比率は**51.5%**に減少。
- 支払報酬は、前期比で**買収関連の一時費用等**が無くなり減少。



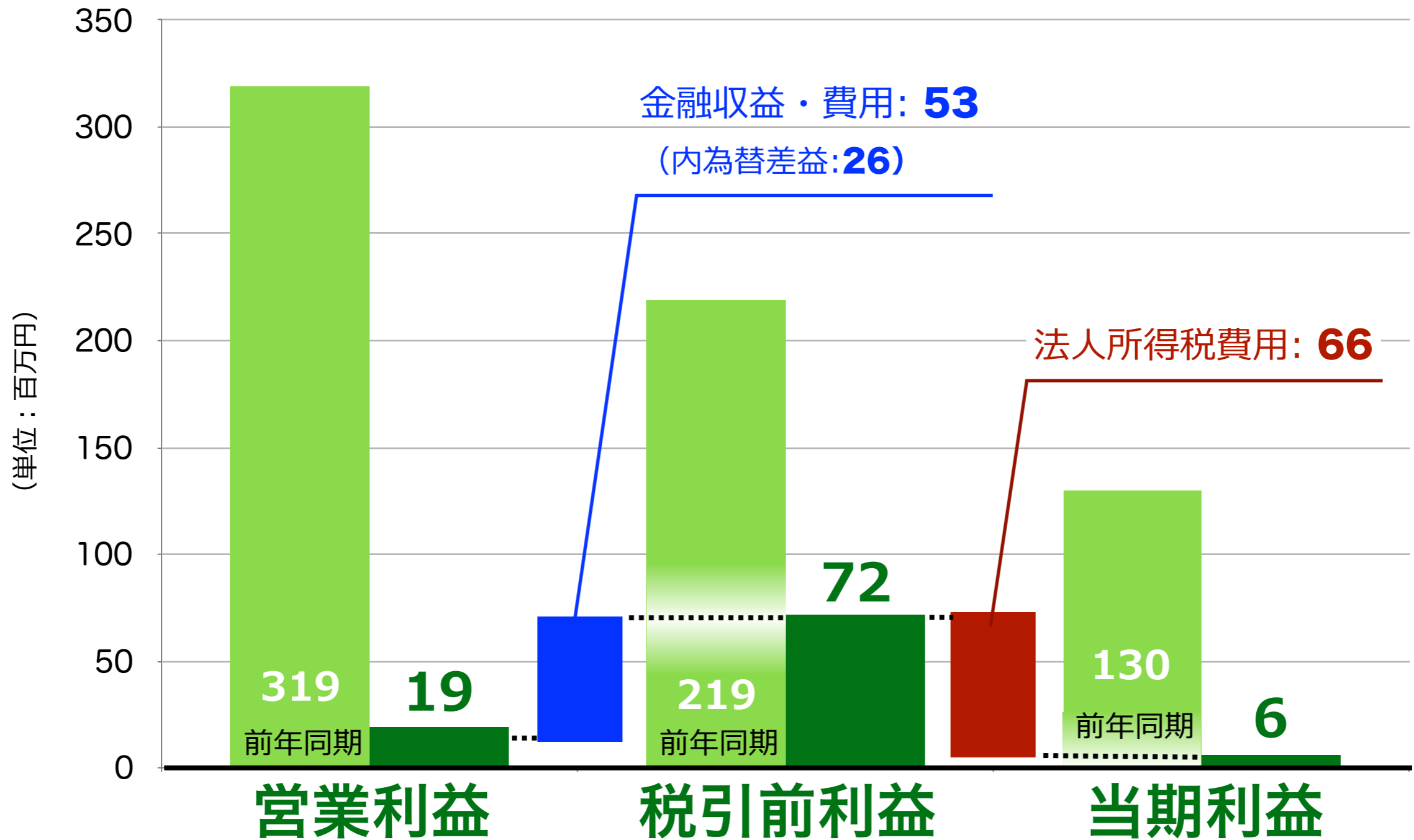
# 売上収益から営業利益までの内訳

- 売上は対前年増加するも、製品・サービス原価の増加とアーンアウト（成果報酬型買収対価）の増加により営業利益は減少。



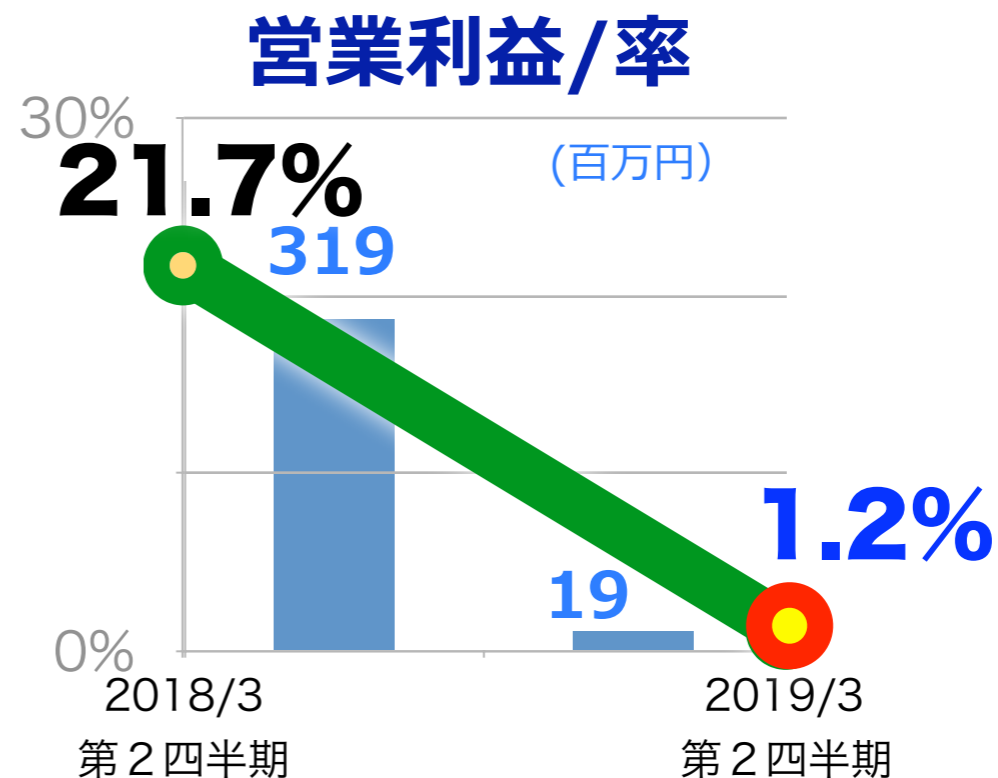
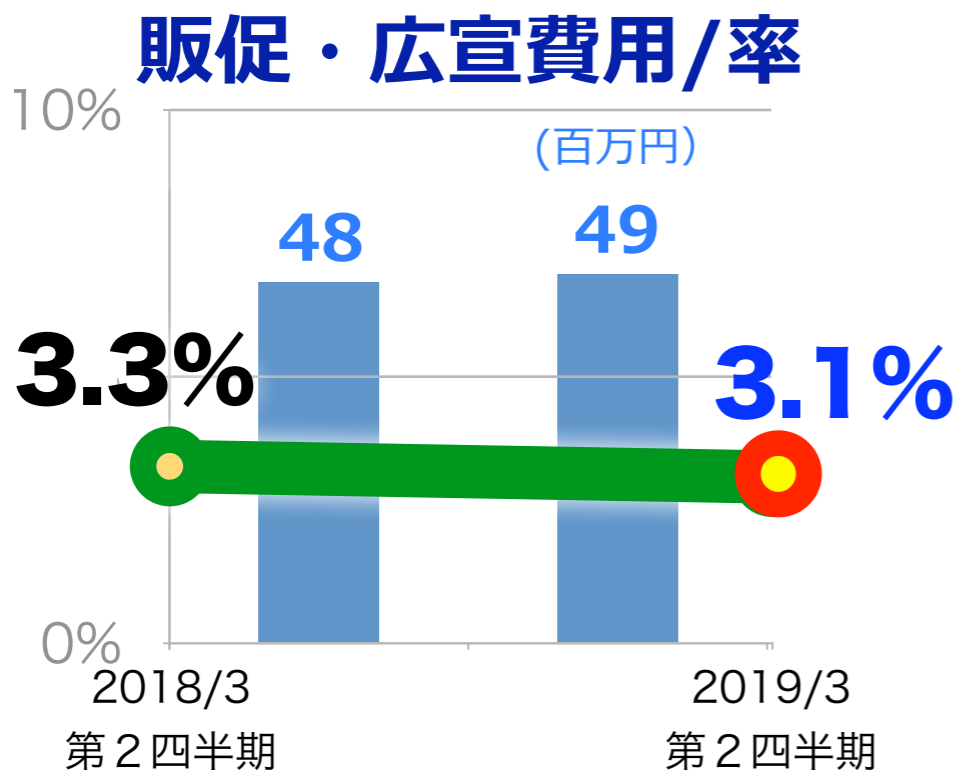
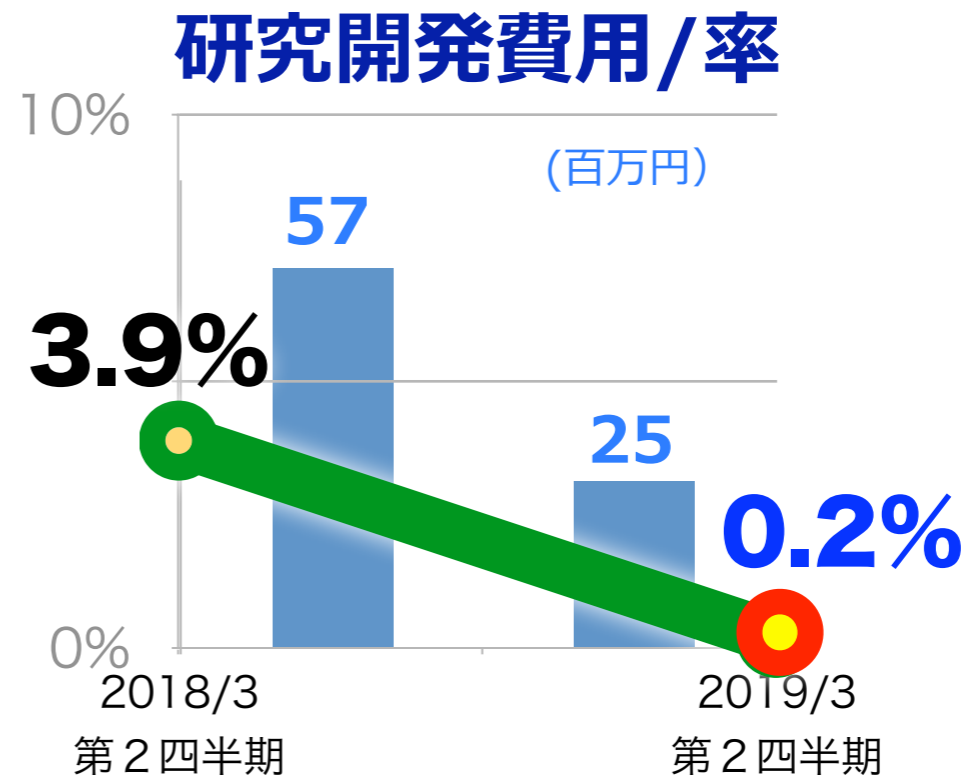
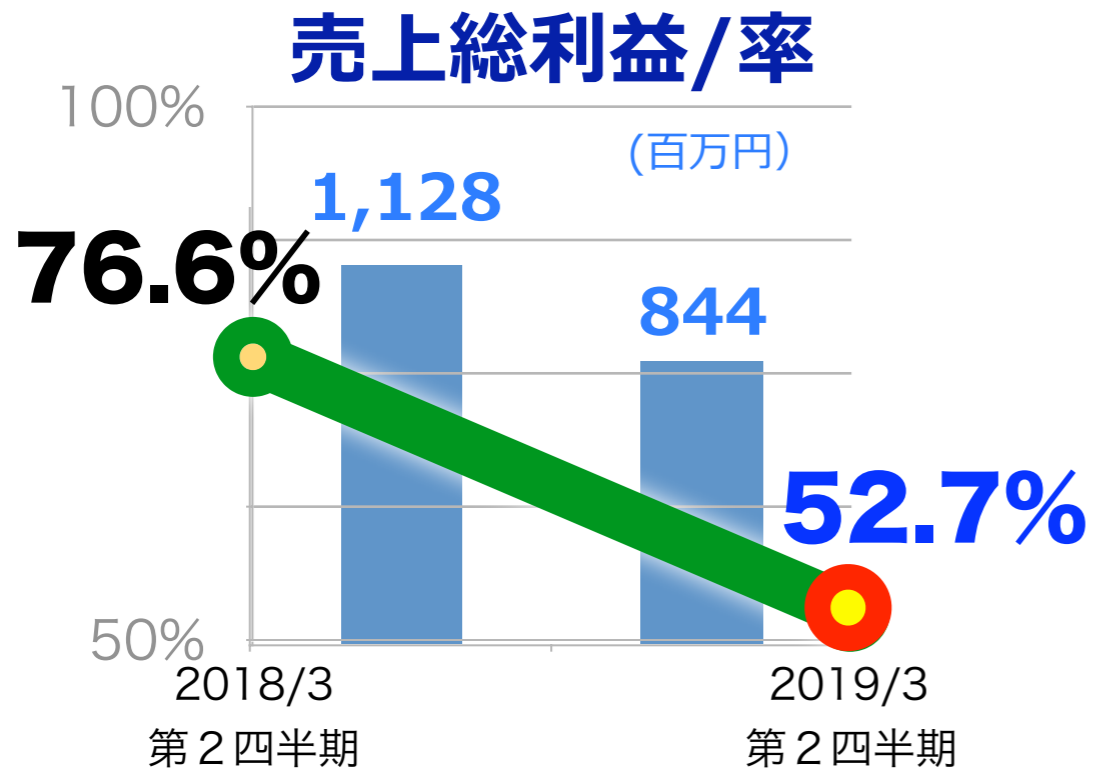
2019年3月期 第2四半期

# 営業利益/税引前利益/当期利益



2019年3月期 第2四半期

# 経営指標の推移 (前年同期比)



# 財政状態計算書

(単位：百万円)

		2018年 3月31日	2018年 9月30日	増減
資産の部	現預金等	4,219	3,269	▲951
	営業債権	296	498	202
	その他流動資産	129	69	▲60
	有形固定資産	94	186	93
	のれん	1,383	1,380	▲3
	無形資産	221	176	▲45
	投資等その他	1,219	1,290	71
	資産合計	7,560	6,866	▲693
負債の部	借入金	100	100	-
	営業債務	146	116	▲30
	未払法人所得税等	202	121	▲81
	その他流動負債	681	691	11
	長期借入金	-	-	-
	その他非流動負債	797	700	▲98
負債合計	1,926	1,728	▲198	
純資産の部	株主資本	5,452	5,018	▲434
	その他資本の構成要素	182	120	▲62
	純資産合計	5,634	5,138	▲496

(単位：百万円)

## ■ 資産合計

7,560 → 6,866  
(期初)

## ■ 自己資本比率

74.8%

✓ 長期借入金：無し  
→ 積極的な投資に耐えうる  
極めて健全な財務体質



# キャッシュ・フロー計算書

- 財務活動によるCFの減少は主に**自社株購入**による。
- 戦略的投資に向けて**30億円超**の潤沢な現預金等を有する。

(単位：百万円)	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期
営業活動による キャッシュ・フロー	548	▲240
投資活動による キャッシュ・フロー	▲815	▲373
財務活動による キャッシュ・フロー	1,958	▲460
現金及び現金同等物の 期末残高	3,484	3,269

# 業績予想について

- 売上収益は順調に進捗しているものの、利益は進捗率が低下。
- 第2四半期の減益要因は改善予想のため業績予想は変更無し。

2  
つ  
の  
減  
益  
要  
因

## ① 製品・サービス原価 が増加

(特にデザインサービス)

T-Mobile / Sprintの合併準備により  
複数のプロジェクトが遅延や非効率化

T-Mobile/Sprintの影響  
は10月以降回復傾向、  
また世界的航空機製造会社  
の受注も獲得しており、  
通期は計画通りの見込み

## ② アーンアウトが増加

前年度（買収時）処理の遅行分  
※買収時特有の一時的なもの

第2四半期(7~9月)限定  
の影響のため、下半期は  
比率が改善



# 2019年3月期 第2四半期 決算説明会

**お問い合わせは：03-5718-1655**

本説明会及び説明資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、さまざまな要因の変化等により、これらの見通しと異なる場合がありますことをご承知おきください。

(証券コード：3853)